

令和 2 年 6 月 5 日現在

機関番号：13401

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2015～2019

課題番号：15K06355

研究課題名（和文）集約型都市構造に向けた城趾周辺地区の持続的な再生計画と開発手法

研究課題名（英文）Sustainable revitalization plan and development method in the area around the old castle for an integrated urban structure

研究代表者

野嶋 慎二（Nojima, Shinji）

福井大学・学術研究院工学系部門・教授

研究者番号：70303360

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,700,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は地方都市における城趾周辺地区を含む中心市街地の望ましい計画と効果的な開発手法に関する知見を得ることを目的とし、下記の研究成果を得た。

（1）地方都市169都市174城の城趾周辺地区における地形・歴史的資源の残存状況や土地利用などの特性を明らかにした。（2）歴史的市街地において都市機能集約を図るため、土地活用や流動化の実態を分析し、特に居住機能の集約方法としての小規模住宅団地の実態と有効性を検証した。（3）歴史性を活かした景観形成を図る整備手法を検討するため、眺望保全の方針や景観形成重点区域における市街地整備の状況より計画と事業の運動性を考察し、福井市においてガイドラインを提示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

全国の地方都市で集約型都市構造を目指し、中心拠点の整備を進めようとしているなかで、公的施設や公的土壌が集積する城趾周辺地区は、開発の可能性も大きく都市再生の重要な地区と位置づけられる。こうした地区の歴史性・場所性を壊すのではなく、これらを維持・活用しながら都市機能を集約し、魅力ある都市空間をつくる持続的な開発手法についての研究は少なく学術的に意義がある。さらに本研究で得られた考え方は、福井市のデザインガイドラインにも使用され、社会的にも意義があると考えられる。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to obtain the knowledge about the desirable plan and effective development method of the area around the old castle in the local city. The research results are as follows.

1. In 169 local cities and 174 castles, the characteristics of the area around the old castle were clarified, such as the topography, remaining status of historical resources and land use. 2. In order to consolidate urban functions, the actual conditions of land use and transfer of land rights were clarified, and the actual conditions and effectiveness of small-scale housing estates as a method of consolidating residential functions were verified. 3. In order to examine the maintenance method for planning the landscape formation that makes use of the historical characteristics, consider the interlocking of the plan and the development from the situation of the urban development in the landscape formation priority area. Furthermore, I proposed a design guideline in Fukui City.

研究分野：都市計画

キーワード：城趾周辺地区 都市再生 歴史的資源

## 様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

### 1. 研究開始当初の背景

地方都市において都市再生に向けた取り組みが行われ、さらに国土交通省による立地適正化計画制度が2014年8月に施行され、各地方自治体は集約型都市構造及び中心拠点再生のあり方や実現化手法を検討していこうとしている。本研究は、集約型都市構造に向けて城趾周辺地区の計画はその最重要な課題の一つになると考え、これに着目している。各自治体は戦後次々に作られた公共施設の耐用年数が過ぎ、中心部の公共施設の更新が相次いでいるが、城趾周辺地区は、公的施設や公的所有の土地が集積しており敷地規模も大きいことから、今後、都市機能の集約化に向けた開発の可能性は大きい。一方で城趾周辺地区は歴史性や文化性のある重要なエリアであり、単に既存の都市再生の技術を活用することは歴史的・文化的資源の破壊にもつながり、学術的な開発理論が必要となる。しかし城趾周辺地区に関する既往研究を見ると、歴史性に着目した江戸から現在に至る空間構造の歴史の変遷に関するものが大半を占めている。城趾周辺地区を都市再生の重要な地区と位置づけ、歴史性・場所性を維持・活用しながら都市機能を集約し魅力ある都市空間をつくる持続的な開発手法に関する研究は見られない。

### 2. 研究の目的

以上より、地方都市再生に向けて、城趾周辺地区、特に公的施設が集積した地区は、都市機能の集約化や魅力的な都市空間の創出のための重要な地区でありながら、その望ましい目標像と実現化方策を明らかにしたものはないことから、詳細な実態調査及び先進事例の手法研究の必要性があると考え。

そこで本研究は、全国地方都市の城趾周辺地区に着目し、その実態や特性、及び再生計画や開発プロジェクトの調査・分析を行い、歴史性を活用・再生しながら魅力ある都市空間を構築していくための再生計画と持続的な開発手法に関する知見を得ることを目的としている。

### 3. 研究の方法

研究は下記の通りに進めていく。

(1) 169 都市 174 城における城址周辺地区（旧城郭地区とその周辺を示す）を対象に、都市計画など関連計画の策定状況、都市機能の変遷、および地形・歴史的資源の残存状況と土地利用から、「旧城郭地区周辺の現況特性」を明らかにする。

(2) 集約型都市構造に向けて、中心市街地は適正な土地利用により機能集積を図ることが重要な地区であるが、低未利用地が多く権利関係が複雑な城下町などの歴史的市街地では、土地の有効活用が進んでいない。福井市の城址周辺地区を事例として、土地の権利移動の実態と土地利用を分析し、土地活用や流動化を阻害する要因を明らかにする。

(3) 集約型都市構造を実現する方法として、居住機能を集約化することも重要であると考え。しかし、歴史的な市街地では土地の権利関係の複雑化や都市基盤が整っていないなどの課題があり、こうした地区における良好な居住地を構築する方法として小規模住宅団地に着目し、その実態と有効性を検証する。

(4) 集約型都市構造への再編に向けて、城址周辺地区は、歴史性を活かした良好な景観形成を図ることが必要であり、そのための整備手法が必要であると考え。旧城郭地区とその周辺における、景観形成重点区域の設定状況、景観を形成する際に重要な手法の1つである眺望保全の方針について考察し、さらに、景観形成重点区域における市街地整備の状況を考察し、計画と事業の連動性を考察する。

(5) 福井市城址周辺地区を題材に、歴史的資源や地域資源を活用し、都市機能・居住機能を集約化しながら景観整備や空間整備を行っていく方法を提示する。

4. 研究成果

(1) 旧城郭地区周辺の現況特性

169 都市 174 城における旧城郭地区周辺を対象に、都市計画など関連計画の策定状況、都市

| 本丸跡の区域区分と土地利用<br>※2<br>地形分類<br>旧城郭地区周辺における濠の現存状況 | 用途地域                         |  |  |   | 市街化調整区域  | 白地地域   | 都市計画区域外  |                             |                       |
|--|------------------------------|--|--|---|--|--|--|-----------------------------|-----------------------|
|  | 都市公園系 ※1                     | 公共施設系  | その他  |   |  |  |  |                             |                       |
|  | 都市基幹 49 城                    | 住区基幹 46 城  | 31 城   | 12 城  | 8 城  | 19 城   | 9 城  |                             |                       |
| 平城型<br>68 a1                                     | 旧城郭地区内に内濠がありかつ周辺に外濠が一部現存している | ○松本 松本市<br>●高田 上田市<br>●赤穂 赤穂市<br>●鶴ヶ岡 鶴岡市  | ●桑名城 桑名市   |   |  | ●篠山城 篠山市   | ◇5<br>●0<br>○2<br>●4   |                             |                       |
| 68 a2  | 旧城郭地区が濠に囲まれている               | ○山形 山形市<br>○五稜郭 函館市  | ●府内城 大分市<br>○岸和田城 岸和田市<br>○今治城 今治市<br>○八代城 八代市<br>○島原城 島原市<br>○土浦城 土浦市<br>●米沢城 米沢市<br>●榎倉城 榎倉町   | ●福井城 福井市<br>●水口城 甲賀市  |  |  | ◇5<br>●2<br>○6<br>●4   |                             |                       |
| 12 a3  | 旧城郭地区を囲むように濠が一部現存している        | ◇富山城 富山市<br>●佐賀城 佐賀市   | ●津城 津市<br>○高松城 高松市<br>●高島城 高島市<br>○中津城 中津市<br>●宇都宮城 宇都宮市<br>●新庄城 新庄市<br>●壬生城 壬生町   | ◇忍城 行田市<br>◇新井田城 新井田町<br>●鹿島城 鹿島市<br>●柳河城 柳川市<br>●福江城 五島市   | ●三原城 三原市<br>●藤所城 大津市<br>●蓮池城 佐賀市                         |  | ◇7<br>●6<br>○1<br>●10  |                             |                       |
| 17 a4  | 旧城郭地区内や周辺に濠が一部現存している         | ◇上田城 上田市   | ○西尾城 西尾市<br>○神戸城 神戸市<br>○松代城 長野市   | ◇高崎城 高崎市  |  | ◇松前城 松前町   | ◇6<br>●0<br>○3<br>●8   |                             |                       |
| 6 a5   | 濠がほとんど現存していない                | ○吉田城 重慶市<br>○川越城 川崎市   | ○大垣城 大垣市<br>●加納城 岐阜市<br>○沼津城 沼津市<br>●村松城 五泉市<br>●田辺城 舞鶴市   | ●福島城 福島市<br>●前橋城 前橋市<br>●高槻城 高槻市<br>●尼崎城 尼崎市<br>●亀ヶ崎城 酒田市<br>●下館城 茨西市<br>●館林城 館林市<br>●安中城 安中市<br>●小松城 小松市<br>●勝山城 勝山市 | ○長岡城 長岡市<br>●古河城 古河市<br>●小浜城 小浜市<br>●宮津城 宮津市<br>●田辺城 田辺市 | ○田中城 津波市<br>●関宿城 野田市<br>●長島城 桑名市                                       | ●小城 小城市<br>●松嶺城 酒田市  | ◇2<br>●5<br>○6<br>●16       |                       |
| 平山城型<br>83 b1                                    | 旧城郭地区内に内濠がありかつ周辺に外濠が一部現存している | ◇金沢城 金沢市<br>●姫路城 姫路市<br>○弘前城 弘前市<br>○若松城 会津若松市<br>○彦根城 彦根市   |  | ◇郡山城 大和郡山市  |  |  | ◇6<br>●2<br>○3<br>●1<br>○2<br>●1<br>○0<br>●1   |                             |                       |
| 83 b2  | 旧城郭地区が濠に囲まれている               | ◇松江城 松江市<br>◇丸亀城 丸亀市   |  |   |  |  | ◇10<br>●7<br>○5<br>●9  |                             |                       |
| b3   | 旧城郭地区を囲むように濠が一部現存している        |  | ◇府中城 甲府市   | ●田原城 田原市<br>●伏見城 日南市  | ●久留米城 久留米市<br>●亀山城 亀岡市                                   |  | ◇3<br>●0<br>○1<br>●4   |                             |                       |
| b4   | 旧城郭地区内や周辺に濠が一部現存している         | ◇大野城 大野市   | ◇上山城 上山市<br>◇唐津城 唐津市<br>●大館城 大館市   |   | ●磐城平城 いわき市   |  | ◇17<br>●1<br>○7<br>○0<br>●4  |                             |                       |
| b5   | 濠がほとんど現存していない                | ◇福山城 福山市<br>◇白石城 白石市<br>◇横手城 横手市<br>◇亀山城 龜山市<br>◇上野城 伊賀市<br>◇平戸城 平戸市<br>●首里城 那覇市<br>○松坂城 松阪市<br>○米子城 米子市<br>○大村城 大村市<br>●猪苗代城 猪苗代町<br>●沼田城 沼田市<br>●小諸城 小諸市   | ◇丸岡城 坂井市<br>◇掛川城 掛川市<br>◇福知山城 福知山市<br>◇津山城 津山市<br>◇宇和島城 宇和島市<br>◇杵築城 杵築市<br>○延岡城 延岡市<br>●花巻城 花巻市<br>●三春城 三春町<br>●結城城 結城市<br>●大田原城 大田原市<br>●飯山城 飯山市<br>●岩村田城 佐久市<br>●横須賀城 掛川市<br>●田丸城 玉城町<br>●新宮城 新宮市<br>●浜田城 浜田市 | ◇拳母城 豊田市<br>◇岡部城 南丹市<br>○水戸城 水戸市<br>●松尾城 山形市<br>●鳥羽城 鳥羽市<br>●日出城 日出町<br>●殿原城 刈谷市                                      | ●飯田城 飯田市   | ◇大山城 大山市<br>◇大洲城 大洲市<br>●七戸城 七戸町<br>●二本松城 二本松市<br>●高遠城 伊那市<br>●高鍋城 高鍋町 | ◇大多喜城 大多喜町<br>●鯉城 厚沢町<br>●黒羽城 大田原市<br>●佐賀城 津波市<br>●長尾城 南総総市  | ◇17<br>●1<br>○7<br>○0<br>●4 |                       |
| 背山型<br>10 c1                                     | 旧城郭地区が山の麓に位置し濠に囲まれている        | ◇萩城 萩市   | ●鳥取城 鳥取市   | ◇洲本城 洲本市<br>●山口城 山口市<br>●鹿児島城 鹿児島市  |  | ●松岡城 高崎市   | ◇2<br>●3<br>○0<br>●3   |                             |                       |
| 10 c2  | 旧城郭地区が山の麓に位置し濠に囲まれている        |  |  | ●一関城 一関市<br>●竜野城 たつ市  |  | ●佐土原城 宮崎市<br>◇出石城 豊岡市  | ◇1<br>●0<br>○0<br>●4   |                             |                       |
| 山字型<br>13 d                                      | 本丸が山頂にある                     | <b>凡例</b><br>旧城郭地区の土地利用（無印は都市公園を示す）<br>● 県庁 ● 警察本部 ● 小学校 ● 資料館 ● 神社境内 ● 河川 ● 天守閣・櫓の有無<br>● 市役所 ● 陸上自衛隊駐屯地 ● 中学校 ● 博物館 ● 駅構内 ● 山林 ● 旧城郭地区内に天守閣または櫓がある<br>● 裁判所 ● 市民会館 ● 高校 ● 美術館 ● 民地<br><b>都市規模</b><br>● 地方中核都市圏（城を含む DID 地区内に県庁が所在するまたは DID 人口が 30 万人以上の都市）<br>○ 地方中心都市圏（城を含む DID 地区の DID 人口が 5 万人以上 30 万人未満の都市）<br>● 地方中小都市圏（城を含む DID 地区の DID 人口が 5 万人未満の都市） |  |   |  | ●高取城 高取町   | ●空閑城 空閑市<br>●鳥山城 那須烏山市<br>●村上城 村上市<br>●苗木城 中津川市<br>●郡上城 郡上市<br>●津和野城 津和野町<br>●高梁城 高梁市<br>●勝山城 真庭市<br>●佐伯城 佐伯市<br>●岡城 竹田市 | ●久留米城 君津市<br>●岩村城 更那市       | ◇0<br>●0<br>○0<br>●13 |
| 13   |                              | ◇30 ●12 ◇17 ●20 ◇23 ●6 ○10 ●30 ●5 ●8 ○2 ●21 ◇2 ●0 ○4 ●8 ○1 ●1 ○1 ●6 ◇3 ●0 ○0 ●19 ◇2 ●0 ○0 ●9   |  |   |  |  |  |                             |                       |

※1 都市公園系において、大規模公園、国営公園は都市基幹公園に分類した。特殊公園は、都市基幹公園の一つである総合公園の面積の最低標準（10ha）より大きい場合は都市基幹公園に分類し、小さい場合は住区基幹公園に分類した。  
 ※2 地形分類は、本丸跡とその周辺の標高差をもとに分類した。まず標高差が見られるものとあまり見られないものに分けて、後者を平城型とした。前者のうち、標高差が 100m 以上ある場合を山字型、背景に山があり山の麓にある場合を背山型、それら以外を平山城型と分類した。

図 1 全国の旧城郭地区周辺の空間特性

機能の変遷、および地形・歴史的資源の残存状況と土地利用から、図1の通りに類型化されるなど、旧城郭地区周辺の現況特性が明らかになった。

これによれば、全174城は地形により、平城型、平山城型、背山型、山城型に分類される。濠や天守閣や櫓といった歴史的資源が多いほど、都市基幹公園が多くなっている。平城型は、城郭が都市公園となって濠を残すパターンと濠を埋め立てて市街地化するパターンに分かれ、また濠の残存度は都市公園の規模と関係していることが考えられる。平山城型は、都市公園系が多く、都市公園系の方が天守閣や櫓が多く残っている。山城型は、用途地域外に位置付けられることが多く、市街地から離れたところに位置していることなどの現況特性が明らかになった。

表1 1965年～2014年登記簿データによる土地の共有

|    | 1969年      | 2013年      |
|----|------------|------------|
| 1人 | 378 (92%)  | 341 (80%)  |
| 2人 | 22 (5%)    | 60 (14%)   |
| 3人 | 4 (1%)     | 11 (3%)    |
| 4人 | 4 (1%)     | 5 (1%)     |
| 5人 | 4 (1%)     | 6 (1%)     |
| 6人 | (0%)       | 2 (0%)     |
| 8人 | (0%)       | 2 (0%)     |
| 9人 | 1 (0%)     | 1 (0%)     |
| 総計 | 413 (100%) | 428 (100%) |

### (2) 都市機能の集約化に向けた土地の権利移動の実態

福井市の中心市街地でもある城址周辺地区を対象とし、過去50年間に遡って権利移動の実態と土地利用を分析することにより、土地活用や流動化を阻害する要因を明らかにした。福井市中心市街地における過去50年に渡る登記簿の分析とアンケート調査により、土地の売買、相続の実態が明らかになった。土地所有者の多人数化（権利関係の複雑化）（表1）や広域化（遠いところに住む）が進んでいることやゴマ塩状に未利用地が広がっていることから、個々人の土地所有者の意向に任せるのではなく、街区内でまとまった土地を一体的に土地活用できるように土地の計画的な管理運用の仕組みづくりが必要であるなど、中心市街地における都市機能の集約化に向けた知見を得た。

### (3) 城址周辺地区における小規模住宅団地による居住空間の再構築

金沢市の「まちなか住宅団地整備費補助金」を事例とし、住宅団地の踏査や居住者アンケート（95世帯中37世帯（回遊率39%））及び開発事業者ヒアリング（3社）を行い、城下町の都市構造が残る市街地において、小規模住宅団地開発による土地利用の変化と整備効果を分析した。その結果、小規模住宅団地は、a. 良質なストック形成、b. コミュニティ活性化、c. エリアの価値向上、d. 土地利用の転換と集約化の4つの役割を伴った開発が行われており、既成市街地における居住機能の集約化の実現手法として有効であることがわかった。

さらに、ヒアリング等の実態調査を通して、住宅団地の整備にかかる地権者、開発業者、居住者、周辺地域の住民の4者が、それぞれ役割や課題を補完しながら団地開発が行われ、小規模住宅団地の開発による居住空間の再構築が行われていることが明らかとなった（図2）。

しかし本稿の事例では、偶然入手できた土地を開発している事例が多く、500㎡を越える土地は、今後も多く供給される状況ではない。また、団地開発を契機に、複数の土地の統合などにより土地をまとめる事例は多くない。土地の集約化を促進するため、行政による敷地統合に向けた情報提供、

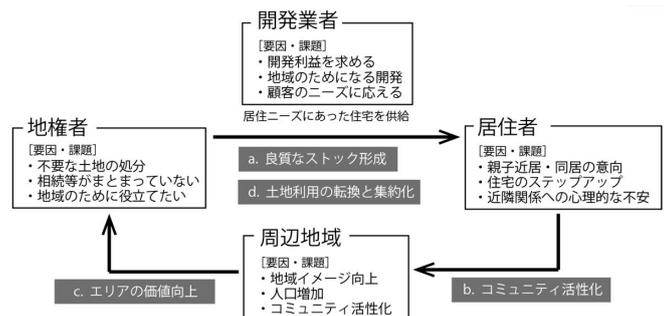


図2 居住空間の再構築のサイクル

| 区域設定<br>パターン | 面型 面的な要素をもつ区域設定 / 39都市   |   |                              | 沿道型 濠沿いや道路沿いなどの沿道空間的な要素をもつ区域設定 / 9都市         |  |                      | 眺望型 眺望ライン要素をもつ区域設定 / 6都市                     |  |
|--------------|--|---|------------------------------|--|--|----------------------|--|--|
|              | 旧城郭地区中心型   | 城下町中心型  | 駅周辺型                         | 大手道型   | 街道沿い型  | 堀割沿い型                | 山眺望保全型                                       | 天守閣眺望保全型                                       |
| 模式図          |  |   |                              |  |  |                      |  |  |
| 特徴           | 21都市<br>旧城郭地区またはその周辺を中心とした区域   | 16都市<br>武家屋敷、町家、寺社などが集積している城下町を中心とした区域  | 2都市<br>旧城郭地区を含んだ駅を中心とする区域    | 3都市<br>城郭までの沿道空間を中心とした区域                     | 5都市<br>街道沿いや伝統的建造物の街並みを意識した区域  | 1都市<br>堀割沿い空間を意識した区域 | 3都市<br>城郭から山や島(A)などへの眺望を保全する区域               | 3都市<br>ある視点場(B)から城郭への眺望を保全する区域                 |
| 対象都市         | 市内城大分市 平 濠完備<br>上野城土浦市 平 濠完備<br>堀内福井市 平 濠完備<br>新井田城新井市 平 濠完備<br>松本城松本市 平 濠完備<br>佐賀城佐賀市 平 濠完備<br>小丸城小丸市 平 濠なし<br>鳥取城鳥取市 平 濠完備<br>多摩城多摩市 平 濠完備<br>松江城松江市 平 濠完備<br>弘前城弘前市 平 濠完備<br>盛岡城盛岡市 平 濠完備<br>白河小峰城白河市 平 濠完備<br>小伝馬町小伝馬市 平 濠完備<br>北条城鎌倉市 平 濠完備<br>姫路城姫路市 平 濠完備<br>和歌山城和歌山市 平 濠完備<br>高知城高知市 平 濠完備<br>水戸城水戸市 平 濠完備<br>丸内城松本市 平 濠完備<br>延岡城延岡市 平 濠完備 | 篠山城篠山市 平 濠完備<br>島原城島原市 平 濠完備<br>松本城松本市 平 濠完備<br>中津城小津市 平 濠完備<br>横河城横河市 平 濠完備<br>萩城萩市 平 濠完備<br>青島城青島市 平 濠完備<br>松江城松江市 平 濠完備<br>久留米城久留米市 平 濠完備<br>飯沼城飯沼市 平 濠完備<br>上野城伊賀市 平 濠完備<br>福山城福知山市 平 濠完備<br>平戸城平戸市 平 濠完備<br>松嶺城酒田市 平 濠完備<br>小丸城小丸市 平 濠完備<br>米子城米子市 平 濠完備 | 高島城高島市 平 濠完備<br>甲府城甲府市 平 濠完備 | 富山城富山市 平 濠完備<br>姫路城姫路市 平 濠完備<br>松山城松山市 平 濠完備 | 土浦城土浦市 平 濠完備<br>勝山城勝山市 平 濠完備<br>小田原城小田原市 平 濠完備<br>上野城伊賀市 平 濠完備<br>横須賀城横須賀市 平 濠完備 | 柳河城柳川市 平 濠完備         | 弘前城弘前市 平 濠完備<br>白井城白井市 平 濠完備<br>盛岡城盛岡市 平 濠完備 | 岡崎城岡崎市 平 濠完備<br>松山城松山市 平 濠完備<br>福知山城福知山市 平 濠完備 |
| 整備状況         | 18<br>8  | 5<br>3  | 1<br>1                       | -<br>3                                       | -  | -                    | -  | 4<br>-   |

※景観形成重点区域内において、旧城郭地区とその周辺で実施されたまたは実施予定の市街地整備事業の数を景観形成重点区域の設定パターンごとに整理した。「点」とは「点整備」を示し、公園広場整備や高次都市施設の建設などの点的な整備事業が含まれる。「線」とは「線整備」を示し、線的な街路空間の整備事業が含まれる。

図3 景観形成重点区域の設定状況と市街地整備の状況

制度的な対応等の支援や、不動産業者や相続手続き、建築、金融等の専門家が組織的に支援できる仕組みなど民間ベースの取り組みが必要と考えられる。

(4) 城址周辺地区の景観形成

城址周辺地区における、集約型都市構造への再編に向けて、歴史性を活かした良好な景観形成を図るための整備手法を考える。この



図4 福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドライン (お堀との関係性に配慮した開発のイメージ)

ため、城址周辺地区(旧城郭地区周辺)における、景観形成重点区(以下、景重区域)の設定状況、景観形成において重要な手法の1つである眺望保全の方針、また景重区域における市街地整備の状況を考察し、その連動性を考察した。その結果、下記のことが明らかになった。

- ・城址に関する景重区域の設定状況については、大きく3つの型(面型、沿道型、眺望型)に分類され、さらに詳細に分類すると全8パターンであった(図3)。大手前型、堀割沿い型、山眺望保全型、天守閣眺望保全型は、城址周辺地区において独特の景重区域であると言える。

- ・これらの景重区域内において、城址周辺地区でみられた市街地整備事業を「都市再生整備計画事業」から抽出し分析したところ、大きく点整備と線整備に分類できた。

点整備について見ると「高次都市施設の建設整備」「城郭内整備」「公園・広場整備」、線整備について見ると「ビスタ整備」「城郭周辺街路整備」がみられた。

景重区域内で景観方針と連動する都市再生整備計画事業の事例も幾つか見られ、こうした計画と事業が連動する方法が重要と考えられる。

(5) 城址周辺地区における都市機能の集約による都市再生手法-福井県福井市を事例として-

福井市城址周辺地区を題材に、様々な専門家と議論を行い、歴史的資源を活用し、都市機能・居住機能を集約化して景観整備や空間整備を行うガイドラインを提示した(図4)。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 1件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 0件）

|  |                         |
|--|-------------------------|
| 1. 著者名<br>福岡 敏成・野嶋 慎二  | 4. 巻<br>52-3            |
| 2. 論文標題<br>地方都市中心部における小規模住宅団地による居住空間の再構築に関する研究 -金沢市「まちなか住宅団地整備費補助金」を対象として- | 5. 発行年<br>2017年         |
| 3. 雑誌名<br>日本都市計画学会学術研究発表会論文集   | 6. 最初と最後の頁<br>1014-1021 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし  | 査読の有無<br>有              |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                     | 国際共著<br>-               |

|  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 著者名<br>福岡 敏成・野嶋 慎二  | 4. 巻<br>2017          |
| 2. 論文標題<br>地方都市における小規模住宅団地によるまちなか居住の誘導に関する研究 金沢市「まちなか住宅団地整備費補助金」を対象として | 5. 発行年<br>2017年       |
| 3. 雑誌名<br>日本建築学会大会（中国）オーガナイズドセッション                                     | 6. 最初と最後の頁<br>139-142 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし  | 査読の有無<br>無            |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                                 | 国際共著<br>-             |

|   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 著者名<br>福岡敏成・野嶋慎二   | 4. 巻<br>2016        |
| 2. 論文標題<br>都市機能の集約化に向けた地方都市における土地の権利移動の実態分析に関する研究ー福井市中心市街地を事例としてー | 5. 発行年<br>2016年     |
| 3. 雑誌名<br>日本建築学会大会オーガナイズドセッション                                    | 6. 最初と最後の頁<br>21-24 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）<br>なし                                     | 査読の有無<br>無          |
| オープンアクセス<br>オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難                            | 国際共著<br>-           |

〔学会発表〕 計3件（うち招待講演 1件／うち国際学会 0件）

|  |
|--|
| 1. 発表者名<br>野嶋慎二                                    |
| 2. 発表標題<br>歴史的市街地の継承と生活空間の再生～越前大野など福井の歴史的市街地の事例より～ |
| 3. 学会等名<br>2015年度日本建築学会都市計画部門 研究会（招待講演）            |
| 4. 発表年<br>2015年                                    |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

|  | 氏名<br>(ローマ字氏名)<br>(研究者番号) | 所属研究機関・部局・職<br>(機関番号) | 備考 |
|--|---------------------------|-----------------------|----|
|--|---------------------------|-----------------------|----|